

「会費の減額は、そう簡単に今の段階で幾ら減らしますか というようなことは言えるわけではございません」

これは5月28日の二弁定期総会における笠井会長の答弁です。会長選挙の際、笠井会長は「会費の減額」を選挙広報やパンフレットなどにたびたび明記していました。にもかかわらず、今年度予算案に減額が示されていなかったため、総会において道本が会費減額はどうなっているのかと質問したところ、上記のような回答でした（発言の詳細は当会ホームページの総会議事録・抄を参照ください）。

会費減額を信用して現会長に投票した会員も少なくないでしょう。任期1年にもかかわらず総会の場で「いつ、いくら減額するか決められない」という説明では、やる気があるのか疑問です。本当に会員の方を向いているのでしょうか。

しかし会員から年間10億近くの会費を集めながら、ほんの少しの会費減額でさえ、右往左往しているのは、悲しいことです。そもそも二弁が東弁に戻れば、この10億円はほぼ要りません。空いたスペースを他に賃貸もでき、収入を得ることができるので会費ゼロも可能です。「二弁」というわかりづらい名称も、親しみやすい「東弁」に変えることができるのです。そもそも二弁会長の使命は、三会鼎立を解消することであってそれを存続させることではないと思います。

発信人 「二弁設立の趣旨を守る会」
弁護士 道本幸伸 (30期) 弁護士 土居健造 (55期)
東京都千代田区紀尾井町3-19 紀尾井町コートビル301
六法法律事務所
電話 03-3234-5791 FAX 03-3234-0977
守る会ホームページは「合併.com」で検索ください

「守る会」の活動に参加いただける方や趣旨に賛同を表明していただける方は FAX 03-3234-0977 までご返信ください。本ニュースの配信停止のご連絡も下記をお願いいたします。「守る会」ホームページ（合併.com）の「ご意見など」メールフォームよりお送りいただくこともできます。

返信欄

- 「守る会」に参加する
- 「守る会」の趣旨に賛同を表明する
- 本ニュースの配信停止を希望する

その他ご意見

氏名 _____